

まちづくりライブラリー

全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料、建築・交通・環境などの図書、研究機関・シンクタンクなどの調査研究報告書などを収集しています。

特集 名古屋市公会堂

鶴舞公園の中に建つ名古屋市公会堂は、昭和天皇のご成婚記念事業として、昭和2年に起工、昭和5年9月30日に完成し、10月10日に開館しています。



建物の構造は地上4階、地下1階の鉄骨鉄筋コンクリート造で、大ホールと4階ホール、9室からなる集会室等で構成されています。

戦後、昭和20年9月26日から米軍に接収され、昭和31年に返還されるという歴史を持っています。

老朽化の著しかった公会堂は市制90周年記念事業の一環として昭和55年1月から改修工事が進められ、同年8月31日に

完工しました。

10月1日の市制記念日に記念式典が開催され、装いも新たに市民のよき文化の殿堂として再出発しています。

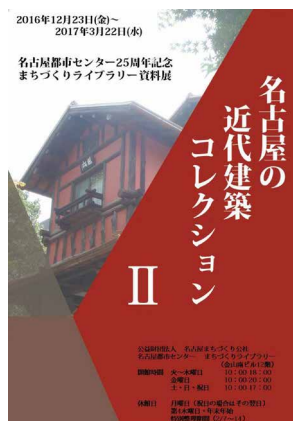
完成から80年余、また大規模改修から30年余りの歳月を経て21世紀を迎えた現在、2度目の改修工事を行うことになりました。館内設備を一新し、時代に合わせた改修工事を行うことで名古屋市公会堂は今後も現役の施設として大切に保存されていきます。

※改修に伴う休館期間 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

- ◆参考文献 ※（ ）内はまちづくりライブラリーの請求記号
 「建築と社会（復刻版）（1930-13-0013）」
 「名古屋市公会堂」名古屋市公会堂／編（Sc-ナ）
 「半世紀のあゆみ」名古屋市公会堂管理事務所／編（Sc-ナ）
 「官庁建築家・名古屋建築課の人々とその設計」瀬口哲夫／著（Se-セ）
 「あいち建築ガイド 歩いて楽しむ街ミュージアム」
 柴田直美・辻本哲朗・森晃子・菊地七海／編（Se-シ）

まちづくりライブラリー資料展

「名古屋の近代建築コレクションⅡ」展
 平成28年12月23日（金）～平成29年3月22日（水）



昨年に続いて2回目となる近代建築に関する資料展では、名古屋市内に現存する建物を取り上げ、関連パネルや資料展示を通じて近代建築を紹介しています。

次回資料展予告
 平成29年3月24日（金）～平成29年6月21日（水）
 「熱田を知る」展

職場体験・インターンシップの受入

名古屋市内の中学校1校の生徒計2名が、まちづくりライブラリーにて図書・雑誌に関する業務、受付業務、資料展示業務等を体験しました。

新着図書紹介

『近鉄名古屋線 街と駅の1世紀』

著者：牧野和人
 出版社：アルファベータブックス
 請求記号：Se-マ



近鉄名古屋線は名古屋から伊勢中川までの約80kmを結ぶ路線です。多種多様な列車が行き交い、多くの人々の足を支えています。本書ではその近鉄名古屋線をはじめ、湯の山線、鈴鹿線的全駅を豊富な写真と地図で紹介しています。またかつて近鉄の路線だった四日市あすなろ線、養老線、三岐線北勢線も取り上げられており、各駅と街、鉄道の歩みと現在の姿を振り返ることができます。

『大前研一IoT革命』

著者：大前研一
 出版社：プレジデント社
 請求記号：Pz-オ



IoT（Internet of Things）とは直訳すると「モノ」のインターネットです。センサーを組み込んだ通信機能をもつ「モノ」がインターネットによってあらゆるモノとつながるようになった状態を指します。例えばスマートフォンで遠隔操作ができる家電、自動運転車などです。IoTとはなにか、実際の事例、これからの未来はどう変わるのかについて解説しています。

『VINTAGE HOME

ビンテージハウスで楽しむスタイルのある暮らし2』

著者：エクスナレッジ／編 出版社：エクスナレッジ
 請求記号：Jd-エ



米軍ハウス・長屋・古い洋館や日本家屋など13軒の古い家と、そこに暮らす人々13人を紹介しています。カメラマン・和紙作家・編集者などものづくりを楽しむ人々、ヨガスタジオや珈琲店を開く人など様々な生業の人たちが古い家に手を加え、ていねいに暮らしています。どんな家を選び、どう暮らすか向き合うことで新しい暮らしのかたちが見えてくる一冊です。